

言葉を手放したら、
世界は神秘とワンダーに満ちていた

Michelangelo Frammartino
フランマルティエロ・マケランジェロの驚くべき世界
日本初の監督特集上映 三つの映画、三つの神秘

四つのいのち

2010年 / イタリア / 88分 / 35mm (上映はDCP) / カラー / 1.85:1 / 5.1ch / 2K / 原題: LE QUATTRO VOLTE 提供: 東映ビデオ 配給: グッチーズ・フリースクール 宣伝: Playtime ※本作は字幕がございません

COPRODUCTION OFFICE presents a VIVO FILM • ESSENTIAL FILMPRODUKTION • INVISIBLE FILM • VENTURA FILM production Written and Directed by MICHELANGELO FRAMMARTINO Line Producer FRANCESCA ZANZA Production Manager MARCO SERRECCHIA
Director of Photography ANDREA LOCATELLI Production Design MATTHEW BROUSSARD Costume Design GABRIELLA MAIOLÒ Editing BENNI ATRIA, MAURIZIO GRILLO Sound Editing & Sound Design DANIEL IRIBARREN With the Collaboration of BENNI ATRIA Sound Mix DIEBASIS ANSGAR FRERICH
Producers MARTA DONZELLI, GREGORIO PAONESSA, SUSANNE MARIAN, PHILIPPE BOBER, GABRIELLA MANFRÉ, ELDA GUIDINETTI, ANDRES PFAEFFLI Project selected by L'ATELIER - CANNES 2007 Supported by MINISTERO PER I BENI E PER LE ATTIVITÀ CULTURALI - DIREZIONE GENERALE CINEMA,
TORINOFILMLAB, EURIMAGES, MEDIENBOARD BERLIN BRANDENBURG, FONDAZIONE CALABRIA FILM COMMISSION - REGIONE CALABRIA

In Collaboration With ZDF/ARTE, CINECITTÀ LUCE, RSI TELEVISIONE SVIZZERA In Association With ALTAMAREA FILM, CARAVAN PASS With the Collaboration of ROMA LAZIO FILM COMMISSION
and CRC - CAPITAL REGIONS FOR CINEMA With the Support of COMUNE DI SERRA SAN BRUNO © 2010 VIVO FILM, ESSENTIAL FILMPRODUKTION, INVISIBLE FILM, VENTURA FILM

イタリア映画史における孤高の映像
日本初公開のデビュー作と

作家ミケランジェロ・フランマルティーノ
最新作を含む、全長編3作品を一挙上映



イタリア映画史における孤高の映像作家ミケランジェロ・フランマルティーノ。言葉に頼らず、人間、動物、大地、そして闇——すべての存在が等しく尊厳を持ち、調和の中で生きる様子を映し出すその世界には、誰も見たことがない驚きと畏敬が満ちています。それは、現実を超えた世界の奥行きに触れる映画体験であり、私たちを神秘とワンダーの中へと引き込むのです。本特集では、デビュー作であり日本初公開となる『おくりもの 4Kレストア版』、カンヌ映画祭で2冠に輝くなど喝采を浴びた『四つのいのち』、そしてヴェネチア映画祭で3冠に輝いた最新作『地底への旅』の全長編3作品を一挙上映します。フランマルティーノが描き出すのは、言葉を超越した「存在の映画」の極致。目の前に広がる驚きと美しさを、ぜひ映画館で体感してください。



ミケランジェロ・フランマルティーノ

1968年ミラノ生まれ。ミラノ工科大学建築科を経て、「スロー・シネマ」の旗手として国際的評価を確立。対話をほとんど持たない映像言語、固定カメラによる長回し、自然音を主体とした音響設計によって、人間中心主義を超えた独自の映画世界を構築する。カンヌ、ヴェネチア、ロカルノをはじめとする世界の主要映画祭でも高く評価される現代映画の最重要作家の一人。

四つのいのち

15年ぶりのリバイバル上映

カンヌを熱狂させた、生命の循環を描く驚異の映像詩

老いた羊飼い、一匹の子ヤギ、巨大な縦の木、そして炭——カラブリアの山村で静かに営まれる生の循環を、セリフをほとんど用いずに描き出した比類なき傑作。第63回カンヌ国際映画祭「監督週間」でスタンディングオベーションを浴び、世界中の批評家を熱狂させた本作は、まさにフランマルティーノの代表作と呼ぶべき一作。人間を世界の中心に置かない、ラディカルなまでに平等な視点——羊飼いの臨終から子ヤギの誕生へ、縦の木の伐採から炭焼き窯の煙へ。ピタゴラス派の「四つの転生」の思想に基づく構成の中で、人間、動物、植物、鉱物が同じ重みで映し出される。圧巻は、村の犬が巻き起こす約8分間のワンカット——演出と偶然の奇跡的な融合が、「映画とは何か」を問い直す。物語ではなく、時間そのものを体験する88分。それは映画館という空間でしか成立しない、純粋な映画の悦楽である。

STORY イタリア最南端、カラブリアの丘の村に暮らす老いた羊飼い。病に侵された彼は、教会の床の塵を水に溶かして飲むという迷信的な治療法に頼っていた。ある晩、「魔法の粉」を使い果たした彼は絶望し、静かにベッドに横たわり、翌朝、眠るように息を引き取る。その後、彼のヤギの群れは新しい牧夫に引き継がれ、その中から1頭の子ヤギが誕生する…。

LE QUATTRO VOLTE / 2010年 / イタリア / 88分
35mm(上映素材はDCP) / カラー / 1.85:1 / 5.1ch / 2K
©2010 VIVO FILM, ESSENTIAL FILMPRODUKTION, INVISIBLE FILM, VENTURA FILM

<https://frammartino.com/>



2026年6月19日(金)よりヒューマントラストシネマ渋谷ほか全国順次公開